

防災ノススメ



皆さんに役立つ防災情報を紹介します

●問い合わせ…危機管理課 (☎39-1227)

第14回は「真冬に起きた災害時の防寒対策」

真冬に災害が発生した時の防寒対策では、体を暖めることと体温を逃がさないことが重要です。

体を暖めるには、昔ながらの石油ストーブやカセットストーブが役に立ちます。これらは電源がなくても使うことができるほか、持ち運びや煮炊きもできる優れたものです。また、使い捨てカイロで太い動脈のある首やわきの下、太ももを暖めることも有効です。体温を逃がさないためには、アルミシートで体を包むことがあげられます。軽くて小さく折り畳みができるので、バッグなどに入れておけば、外出先でも使うことができます。また、新聞紙を体に巻き付けることも有効で、その上からラップを巻きつけると保温効果がさらに上がります。

阪神・淡路大震災は1995(平成7)年1月17日の早朝に発生しました。災害は季節や時間に関係なく起こるので、日ごろから災害に備えましょう。



石油ストーブなどは部屋を暖めながら調理も行えます